

第 8 回 ICF シンポジウムについて

主 催： 厚生労働省
テ ー マ： ICD-11 と ICF 利活用の新たなステージを展望する
～かつてない超高齢社会を迎える日本の挑戦～
日 程： 令和 2 年 1 月 18 日 (土) 13:00～16:30
会 場： イイノホール (住所：千代田区内幸町 2-1-1)
参加人数： 287 人

当日プログラム：

開会挨拶

鈴木 英二郎 (厚生労働省政策統括官 (統計・情報政策、政策評価担当))
中村 耕三 (社会保障審議会統計分科会生活機能分類専門委員会委員長)

基調講演

ICD-11 と ICF の利活用の新たなステージを展望する
～ICD-11 の改訂に参画して～
加藤 真介 (徳島大学病院リハビリテーション部教授)

講演

ICF コンセプトに基づく生活機能評価システムの作成と検証
－ICD-11 第 V 章の臨床活用に向けた取り組み
向野 雅彦 (藤田医科大学医学部リハビリテーション医学 I 講座准教授)

ICF のアップデートと今後の展望

－WHO-FIC 動向と日本での活用に向けて
山田 深 (杏林大学医学部リハビリテーション科准教授)

ICF コンセプトを活用した既存情報整理の考え方と実際

－ICF-WG・リコード班の活動報告を中心に
大冢賀 政昭 (国立保健医療科学院主任研究官)

質疑応答

閉会挨拶

武藤 憲真 (厚生労働省 参事官 (企画調整担当))

POSTER 掲示発表 17 題